

交換留学（派遣）近況報告書

.....
留学先大学：西オーストラリア大学
留学先での所属学部・研究科：Faculty of Arts, Humanities and Social Sciences
留学先での在籍身分：交換留学生
留学期間：2017 年 2 月～ 2017 年 6 月
神戸大学での所属学部・研究科：国際文化学部
学年（出発時）：2
本報告書記入日：2017 年 5 月 2 日

1. 出発前について

1-1. 交換留学以前に海外留学の経験はありますか。

☐ はい ☒ いいえ

「はい」と答えた方は、留学先及び留学期間についてご記入ください。

<国名> _____ <期間> _____

1-2. 交換留学プログラムを最初にどのように知りましたか。

☐ 国際教育総合センターの教員 ☐ 所属学部・研究科の教員 ☐ 友人
☐ 以前に参加した先輩 ☐ 所属学部・研究科の掲示板 ☐ 神戸大学のホームページ
☐ 留学フェア ☐ その他（具体的に）_____

1-3. この交換留学プログラムに参加した動機を教えてください。最もよく当てはまる動機を「4つ」選び、

1～4まで順位を付けてください。（1：最も強い動機）

3 学術的な目的（研究を深める等）	_____ 地理的な条件が良い
2 語学力の向上	_____ 旅行ができる
4 将来のキャリアのため（就職に役立つ等）	_____ プログラムの時期が良い
_____ 家族のバックグラウンドと関係がある	_____ プログラムの期間が良い
1 異文化体験	_____ 経費が安い
_____ 個人的理由	_____ その他（具体的に）_____

1-4. VISA について

VISAの種類：学生ビザ

申請先：オーストラリア

必要日数：1

VISA 取得にかかった費用：10万円ほど

VISA 申請のためにどのような書類の提出を求められましたか。どのように準備しましたか。

オンライン上に現れる質問に答えていくだけでした。健康診断を受ける必要もなく、きちんと質問に答えればすぐにビザが発行されます。

1-5 出発前に必要とされた予防接種の種類・回数・費用

特にありませんでした。

1-6. その他に必要なだった手続き、方法、料金等

ビザを取得する際にオーストラリアの保険への加入が必要でした。

2. 留学先到着後の手続きについて

2-1. 到着時について

利用航空会社： エアアジア

利用旅行会社（航空券の手配をした会社）： エアアジア

留学先大学最寄り空港名： パース国際 空港

空港到着時間： 15時40分 時頃

空港からの移動手段： ☒ 大学手配の出迎え ☐ 知人の出迎え ☐ 公共交通機関 バス、鉄道 ☐ タクシー

☐ その他（具体的に）

移動の所要時間・料金： 分,

空港からの移動の際の注意点：

係の方が、到着ゲートを出てすぐの待ち合わせ場所で待っていてくれるので、特に心配はないと思います。

2-2. 留学生向けオリエンテーションについて

オリエンテーションの有無： ☒ 有り ☐ 無し

参加について： ☒ 必須 ☐ 任意参加

参加費用： ☒ 無料 ☐ 有料（金額： ）

内容について記入してください。

大学のオリエンテーションは大学の授業の仕組み、施設の仕組みについての説明でした。私の住んでいる寮でもオリエンテーションがあり、友達を作るためのアクティビティが入寮してからの1週間は、毎日ありました。

2-4. その他、渡航してから必要な手続きについて

現地で滞在許可書申請は必要ですか。必要な場合、申請方法、料金、取得に係る日数等を記入してください。

必要ありませんでした。

その他現地でした手続きは？（健康診断、予防接種等）有れば、方法、料金等を記入してください。

特にありませんでした。

3. 語学力向上のためのコースについて

3-1. 語学力の向上のために、大学等のコースに参加しましたか。参加した場合、大学（語学学校）名、コース名、料金、期間等を記入してください。

語学条件に達していなかったため、英語力向上のための授業（HUMA1901,1902）の履修が必須条件でした。また、無料でレポートの添削を受けられる大学のサービスによく参加していました。

留学先大学：西オーストラリア大学

留学先での所属学部・研究科：Faculty of Arts, Humanities and Social Sciences

留学先での在籍身分：交換留学生

留学期間：2017 年 2 月～ 2017 年 6 月

神戸大学での所属学部・研究科：国際文化学部

学年（出発時）：2

本報告書記入日：2017 年 5 月 2 日

出発前

どのように情報を集めましたか。参考になる本やホームページがあれば、記入してください。

神戸大学の留学体験記を読んだり、西オーストラリア大学に交換留学されていた先輩の体験談を聞かせていただいたり、わからない事や不安なことの相談に乗ってもらいました。また、地球の歩き方を読みました。

住居について

- ・住居のタイプ：☒大学寮 ☐アパート ☐ホストファミリー ☐その他（具体的に）_____
- 住居（寮、アパート）の名称：Saint Thomas More Collage
- ・部屋の種類：☒一人部屋 ☐二人部屋 ☐その他（具体的に）_____
- ・ルームメイト：☐現地学生 ☐留学生（出身国：_____） ☐その他（具体的に）_____
- ・どのように探しましたか。：☒大学の斡旋 ☐自分で探した ☐その他（具体的に）_____
- ・大学までの通学時間・手段：_____分
- ・住居の周りの環境はどうですか。：

西オーストラリア大学の他の寮が周りにあり、他の寮に住んでいる友達とも遊んだり勉強したりしやすい環境です。市内に行くためのバス乗り場も近く、アクセスも良いです。スワン川が近く、サイクリングロードもあり、治安が良いです。

- ・毎日の食事はどうしていますか。：

寮のミールプランを申請しています。週に14回のプランにしたので、1日1回は外食かスーパーで食べ物を買って、食べています。

- ・住居は渡航前に、または渡航後すぐにみつかりましたか。トラブルはありませんでしたか。：

寮はすぐに部屋が埋まってしまうと聞いていたので、留学が決まって一番最初に申請しました。たくさん書類の提出や、寮から国際電話でインタビューを受けたりと大変でしたが、大きなトラブルはありませんでした。

大学の授業について**1. 履修登録について**

- ・履修登録の時期：☒出発前 ☐到着後
- ・履修登録の方法：☒On-line ☐International Office等の仲介 ☐その他（具体的に）_____
- ・登録時に留学生として優先・配慮されることはありましたか。：☒無し ☐有り
- ・優先・配慮があった場合、具体的に教えてください。

- ・希望通りの授業が履修できましたか。：☒はい ☐いいえ
- ・希望通りの授業が履修できなかった場合、その理由を教えてください。

2. 現在までに、履修している授業について記入してください。

No.	コース名 (現地語・和訳)	教授名	時間数 ／週	留学先 での単 位数	履修し ている 学生数	予習、復習、テスト等についてアドバイスも 含めて教えてください。
1	HUMA1901	Elaine Lopea	3h	6point s	約70	毎週課題がありますがそんなに多くはありません。中間にエッセイ、期末に個人プレゼンがあります。
2	HUMA1902	Penny Hawken	3h	6point s	約20	毎週課題がありますがそんなに多くはありません。中間にエッセイ、期末にグループでのプレゼンがあります。
3	GEND2901	Alison Bartlett	2h	6point s	約40	毎週リーディング課題が与えられます。中間、期末ともにエッセイです。
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

3. 授業（カリキュラム等）について クラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

HUMA1901のレクチャーはとても大人数ですが、他は少人数での授業が行われていました。とても教授と生との距離が近く、質問がしやすい雰囲気でした。現地学生は授業にとっても積極的で、質問や意見をよく授業中にしており、もちろん居眠りをするような生徒は一人もいませんでした。

一週間のスケジュール (授業時間、課外活動等、毎日の生活を記入してください。)

	月	火	水	木	金	土	日
8:00	起床・朝食	起床・朝食	起床・朝食	起床・朝食	起床・朝食	起床・朝食	起床・朝食
9:00							
10:00		Smart drop session	HUMA1902lecture & workshop	昼食	昼食	昼食	昼食
11:00	昼食	昼食	HUMA1901 tutorial	課題	外出or課題	課題	課題
12:00	HUMA1901lecture & workshop	課題	HUMA1902 tutorial				
13:00			JapSSoc(日本文化サークル)	夕食	夕食	夕食	夕食
14:00			夕食				
15:00	GEND2901lecture & workshop						
16:00	夕食						
17:00							
18:00							
19:00							
20:00							
21:00							
22:00							

現在までの感想 自由に記入してください。（800字〜）

パースに来て最初の1か月は日本の友達が恋しく、毎日のように寂しい気持ちになっていましたが、最初の1か月を乗り越えてからはパースでの生活にも慣れ、友達もでき、楽しく充実した毎日を過ごしています。大学の授業が始まる1週間前に、寮の必須のオリエンテーションがあり、様々なアクティビティを一緒にするうちに自然と寮の友達ができました。寮にはアメリカ、中国、シンガポールから来た学生が多いですが、日本人も他の寮と比べると多いです。アジア圏から来た生徒は比較的日本に興味がある人が多く、友達になりやすいように感じました。最初は友達は何を言っているのかわからないことが多く、よく聞き返していました。特にダイニングテーブルで大人数で食事をしながら会話をすると、会話のスピードが上がったり、雑音や周りの話声のせいでより聞き取りづらくなり、会話に置いて行かれることがよくありました。しかし耳が慣れてくると次第に聞き取れるようになってきて、会話の中で発言できるようになっていきました。

私は語学力が足りていなかったのがHUMAの授業の履修が必須なのですが、履修してとてもよかったです。HUMAの授業を受講する学生のほとんどが英語を第二言語の留学生で、パースに一人でも来た生徒が多いのですぐに仲良くなることができました。実際HUMAの授業で知り合った友達とstudy break中に3泊4日の旅行に行ってきました。HUMAの授業ではエッセイの書き方やプレゼンテーションのやり方などの実践的な技術を丁寧に教えてくれました。HUMA1901のレクチャーはとても大人数で行われ、日本の大学の講義と同じような感じでしたがチュートリアルは20人くらいの小規模なクラスで行われ、毎回グループワークを行いました。毎週課題が出されますが、そんなに時間がかかるものではありませんでした。HUMA1902は履修人数が1901に比べてとても少なく、レクチャーも10人以下の少人数で行われる授業でした。少人数でとてもアットホームな雰囲気、教授もとても熱心な方だったのでシャイな私でも気軽に質問ができたり、授業が終わった後も教授と友達数人で雑談をしたりしていました。1902も毎週課題が出ましたが、1902は1901に比べてグループで行う課題や生徒同士で意見交換を行うような課題が多かったです。GEND2901は1クラス40人くらいで行われ、学生のほとんどが英語圏から来た人でアジア圏から来た学生は私を含めて3人でした。レクチャーでは教授の講義を聞き、ワークショップでは生徒同士でディスカッションをしたりグループワークをする形式でした。教授のスピーチは集中すれば聞き取れるくらいのスピードでしたが、学生同士のディスカッションでは、周りがほとんど英語を第一言語とする学生ばかりで毎回白熱した議論が繰り広げられるので、何を言っているかわからないことが多く苦労しています。帰国するまでにはディスカッションについていけるようになりたいと思います。課題は毎週リーディングの要約が出されます。残りの2か月間も悔いの残らないように一日一日を大切に過ごしていきたいと思います。